

『一角纂考』 (2 卷 1 冊)

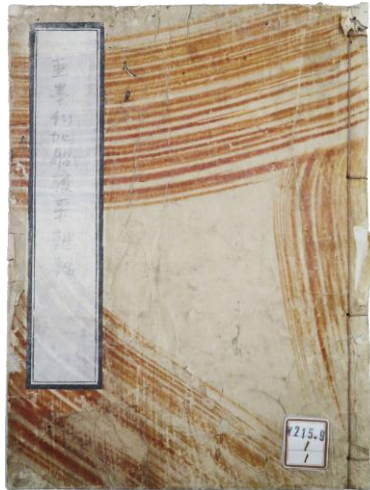
木邨孔恭；編

蔦屋重三郎ら；刊

寛政 7 (1795) 年

27cm／四目綴／表題は「一角考戸時代、嘉永 5 年 (1852 年)

大坂の豪商で、本草学などに通暁した筆者の木邨孔恭(1736-1802)が、蘭学者の大槻玄沢(1757-1827)の協力を得て、蘭方の解毒薬ウニコールについて記した書。



[亜墨利加船渡来雑話] (3冊)

編者不詳

江戸末期の写本

24cm／四目綴／題は仮

ペリー来航当時に流入してきたアメリカの文化や、アメリカ人にスポットを当て、絵と文章で紹介した資料。

**原典及び作品紹介リーフレットは学術情報センターにて公開、
配布しています。**

※現在、学外利用者の方のご来館はご遠慮いただいております。ご了承ください。